

第 75 回宇宙理学委員会 議事録

日時： 2021 年 12 月 24 日（金） 13:30～15:45

場所： オンライン開催（ZOOM）

出席者：

委員： 倉本（委員長）、山崎（副委員長）、阿部、笠羽、清水、福家（以上幹事）、井口、
今村、上野、大竹、金田、斎藤、杉田、関、関根、関本、高橋、玉川、中川、中村、
松浦、三好、山口、山田、横山、米徳

説明者：ひさき 山崎プロマネ、あらせ 篠原チーム長、キュレーション専門委員会 安部
宇宙研：

國中所長、藤本副所長、深井理事補佐、佐藤 PD、吉田研究総主幹、三好科学推進部長
事務局他：

大井田科学推進部参与、加持計画マネージャ、伊藤主任、渡辺主任、杵野 PO 室長、岸、
早川

配布資料：

- | | |
|---------|---|
| 資料 0 | 第 75 回宇宙理学委員会議事次第 |
| 資料 2-1 | 第 74 回宇宙理学委員会議事録案 |
| 資料 2-2 | 理学 AI 表 |
| 資料 2-3 | 第 10 期理学委員_分担案 |
| 資料 3 | 後期運用について |
| 資料 4-1 | WG の終了、延長、新規申請について |
| 資料 4-2 | 金星探査 RG 設置申請書 |
| 資料 4-3 | 月の縦孔・地下空洞直接探査(UZUME)WG 確認会報告 |
| 資料 4-4 | WG/RG 主査交代時の手続きについて |
| 資料 5 | 2021 年度戦略的開発研究費の報告書提出と 2022 年度提案募集について |
| 資料 6 | 2021 年度搭載機器基礎開発研究費の報告書提出と 2022 年度提案募集に
ついて |
| 資料 8 | 宇宙理学委員会運営要領の改正について |
| 資料 9 | 第 17 回キュレーション専門委員会報告 |
| 資料 10 | 宇宙理学メンバ登録・退会について |
| 資料 11-2 | Pre-GDI 活動について |

1. 所長挨拶

- 予算閣議決定がなされ、補正予算による宇宙研関連予算の紹介があった

2. 前回議事録および A/I 確認

前回議事録（資料 2-1）が確認され承認された。

A/I 表（資料 2-2）の処置状況は以下のとおり。

- A/I No.6 & 21 & 62 & 63：CLOSE。
- A/I No.49：理工委員会、コミュニティに対し説明が行われた。次に向け更に進めていく。Open
- A/I No.57：ミッション立ち上げ TF 関係で近々に再考は必須。Open。
- A/I No.59：ミッション立ち上げ TF 関係で戦略経費の考え方に整理が必要になっている。基礎開発経費についても関連があれば検討する。Open。

理学委員_分担一覧表（資料 2-3）にて本委員会各委員の分担が確認された。

3. 後期運用について

- 資料 3 をもとに後期運用に係る評価、審査の考え方の改善、後期運用に割当て可能なソース等について吉田研究総主幹から説明がなされた
- 今回の対象は「あらせ」「ひさき」「Geotail」だが、「あらせ」「Geotail」は今後数年以上の運用による成果創出を目指しているため、後期運用期間全体を俯瞰した延長審査の対象とする。「ひさき」は 3 年未満の予定であり、これまでと同様の審査。

三好委員：10 年程度の長期の運用計画評価とのことだが、中間で何か生じた場合は？

吉田総主幹：想定外事象が発生した場合はその都度審査を行う

三好委員：ミッション横通しとはどのような仕組みを考えているのか

吉田総主幹：コミュニティへの義務でもあり、良い仕組みを考えたい

佐藤 PD：バーチャルでも良いので当事者が始めてくれることを期待

清水委員：長期（約 10 年）計画とは長期の価値を含めるものか

吉田総主幹：その通り。科学的成果を上げていくためにはマイルストーンを設けた方が
良いかもしれない

笠羽委員：これは運用延長評価の横通しであると思って良いか。戦略的評価のように全
体（多くのプロジェクト）が見える形での評価としていくべきだと思うが。

倉本委員長：そのように理学委員会に体制を作っていくべきで A/I とする

中川委員：今後ミッションを立ち上げる場合、衛星設計は定常運用期間のみを前提とし
て良いのか？

吉田総主幹：その通り。定常運用期間前提で考える

笠羽委員：ひさきの後期運用延長評価のスケジュールは？

吉田総主幹：来年度から延長運用を始められるよう2月までに評価結果を出してほしい
笠羽委員：前回の評価委員に引き継いでもらうのが良いのでは。

審査委員は幹事団で協議し決定する →A/I

三好委員：評価審査の依頼文の「2年を考慮の上」の意味は？

佐藤PD：通常の3年ではなく2年、自ら宣言した2年ということ

4. WG 審査・報告

- WG の終了、延長、新規申請について（資料4-1）山崎副委員長から説明が行われ承認された
- 金星探査 RG 設置申請（資料4-2）について今村委員から説明が行われ承認された
- UZUME WG の確認会について杉田委員から報告が行われ了承された。
- WG/RG 主査交代時のルールについて、手続きに追記することが報告され、了承された

5. 2021 年度戦略的開発研究費の報告書提出と 2022 年度提案募集について

- 資料5をもとに上野委員から説明が行われた
- 提案内容が理学的・工学的要素の両面を含み、工学委員による評価が適切と考えられる場合は依頼し、最終評価は理学委員会側で行う。逆も同様

笠羽委員：工学分野で理学的要素が含まれているからと理学の搭載機器基礎開発研究費の申請してくる方がいる。理学側から資金は出せないが。

山崎副委員長：申請内容を見ながら調整していく形で進めたい。見えてきたら枠組みを作っていきたい

6. 2021 年度搭載機器基礎開発研究費の報告書提出と 2022 年度提案募集について

- 資料6をもとに笠羽委員から説明が行われた
- 提案母体の項に、「宇宙科学研究所との共同研究として行われますので、研究参加者に ISAS の研究者を1名以上含めてください」としたのが変更点
- 資料の6. 提案の審査と成果の評価(5)の後半は「実際の搭載につながりうる長期発展を行える中堅パーマネントスタッフおよび若手を主力とすること」にする

金田委員：ISAS の研究者を入れることの意味は？

笠羽委員：ISAS との共同研究であること、研究継続性の観点からである

7. 小規模計画報告

- 10/11 に報告会が行われ、研究総主幹、PD、PO 室長が評価。
- 予算規模に見合う評価が得られた。報告書は不十分。資金の出し方についてはマイナス評価があった

8. 運営要項の改正

- 資料8をもとに説明が行われ、了承された

9. キュレーション専門委員会報告

- 資料9をもとに藤本副所長から説明が行われた
(倉本委員長) 2の分配試料については日本が初期分析を行ったものか？
(藤本副所長) その通りである

10. 理学メンバ登録・退会について

- 新規登録名簿(資料10)が確認され2名が承認された。

11. その他

1) 国際超大型衛星検討RGの現状と今後の対応について

山田委員から報告がなされた。今後の方向を最終的に確認し、RGを終了したい。4月を目途に報告書提出。目的を絞った形で再出発したい

2) Pre-GDI活動について(報告)

資料11-2をもとに山崎副委員長から報告がなされた。ミッション立ち上げTF戦略的中型分科会がGroup de Discussion Intensive(GDI)の設置を理工学委員会に提案。2022年4月からの活動開始を期待。

中川委員：工学分野は含めないのか

山崎副委員長：工学ではGDI活動と同等のものを既に行っている

笠羽委員：「工学委員会における現行活動(GDI相当と言われる)」の具体的内容を知らない人が多いので、どこかで紹介したらどうか？

山崎副委員長：来週の理工合同委員会で紹介するのが良いだろう

12. 議事メモ/AI確認